

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	767	39.4	1	△93.0	2	△93.1	△15	—
26年3月期第1四半期	550	△0.4	17	93.6	29	—	27	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △16百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△3.21	—
26年3月期第1四半期	6.42	6.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	2,548	2,071	81.3	417.24
26年3月期	2,636	2,097	79.5	422.49

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,071百万円 26年3月期 2,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当1円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,585	△23.6	△3	—	△3	—	△13	—	—
通期	2,858	△22.1	152	△73.7	151	△75.0	145	△69.7	29.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	5,022,900 株	26年3月期	5,022,900 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	58,000 株	26年3月期	58,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	4,964,900 株	26年3月期1Q	4,242,925 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策・金融政策により、企業業績の改善や雇用情勢の好転の動きが見られ、全体として緩やかな景気回復基調を継続しました。一方、4月に実施された消費税増税に向けた駆け込み需要とその後の反動の影響等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、当年2月に国内で発売されたPlaystation4が順調に推移しており、世界累計販売台数も700万台を超えております。一昨年発売のWii Uとあわせて、今後の動向に注目が集まっております。コンシューマーゲーム業界におきましては、XboxOneの発売が当年9月に予定されており、次世代据え置き型ハードウェアが出揃う形となりました。モバイルゲーム業界におきましては、スマートフォンやタブレットなどの携帯端末の普及により、ビジネスモデルが多様化し、今後も市場が拡大することが予想されます。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、6タイトルを発売いたしました。オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム及びMobageにてソーシャルゲームの配信を行うとともに、Android OS及びiOS対応のゲームアプリの配信を行いました。また、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツ等の配信を行ってまいりました。ライセンス事業におきましては、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信等を行いました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高767,617千円（前年同期比39.4%増）、営業利益1,256千円（前年同期比93.0%減）、経常利益2,046千円（前年同期比93.1%減）、四半期純損失15,941千円（前年同四半期は27,274千円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外あわせて全6タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『ハーレム天国だと思ったらヤンデレ地獄だった。』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『htoL#NiQーホタルノニッキー』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）の2タイトルを発売いたしました。

海外市場では、『Demon Gaze』（邦題：『デモンゲイズ』、PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Mugen Souls Z』（邦題：『圧倒的遊戯ムゲンソウルズZ』、PlayStation3専用ゲームソフト）、『Hyperdimension Neptunia：Producing Perfection』（邦題：『神次元アイドル ネプテューヌPP』、PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Battle Princess of Arcadias』（邦題：『アルカディアスの戦姫』、Playstation3専用ゲームソフト）の4タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、新規グッズの製作や当社ホームページでの通信販売サイトにおけるキャンペーンの展開を行い、既存顧客の満足度向上に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高544,652千円、営業損失43,442千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、GREE、ヤマダゲーム及びMobageにて『ディスガイア魔界コレクション』の配信を行うとともに、Android OS対応ゲームアプリ『ディスガイアレギオンバトル』の配信を行いました。また、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツやカスタムテーマ等の配信を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高170,511千円、営業利益86,173千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として制作を行いましたGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ビックリマン』の配信をしてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高26,890千円、営業利益25,069千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから発売が予定されている『うたの☆プリンスさまっ♪ All Star After Secret』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱うアミューズメント施設「プリニークラブ」の運営を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高25,563千円、営業損失1,335千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,548,123千円となり、前連結会計年度末に比べ88,864千円の減少となりました。

主な流動資産の増減は、仕掛品が増加（前連結会計年度末に比べ31,045千円の増加）したものの、受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末に比べ112,066千円の減少）しております。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加（前連結会計年度末に比べ62,869千円の増加）等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は476,549千円となり、前連結会計年度末に比べ62,803千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、未払法人税等の減少（前連結会計年度末に比べ44,680千円の減少）、賞与引当金の減少（前連結会計年度末に比べ42,013千円の減少）等によるものであります。

主な固定負債の増減は、退職給付に係る負債の増加（前連結会計年度末に比べ934千円の増加）等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,071,574千円となり、前連結会計年度末に比べ26,061千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、為替換算調整勘定の減少（前連結会計年度末に比べ7,360千円の減少）、利益剰余金の減少（前連結会計年度末に比べ25,871千円の減少）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初の予想どおりに推移しており、平成26年3月期決算短信（平成26年5月15日付公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,385	814,601
受取手形及び売掛金	325,187	213,120
商品及び製品	82,594	92,402
仕掛品	177,929	208,974
繰延税金資産	54,893	63,111
その他	135,270	127,131
貸倒引当金	△1,700	△1,700
流動資産合計	1,664,560	1,517,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	301,140	297,577
機械装置及び運搬具(純額)	6,099	5,534
土地	191,379	191,379
その他(純額)	29,857	38,170
有形固定資産合計	528,476	532,661
無形固定資産	9,740	9,566
投資その他の資産		
投資有価証券	404,702	467,572
その他	29,507	20,681
投資その他の資産合計	434,209	488,253
固定資産合計	972,427	1,030,481
資産合計	2,636,988	2,548,123

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,066	122,987
未払金	80,523	81,877
未払法人税等	68,519	23,839
賞与引当金	68,602	26,588
売上値引引当金	127,917	136,467
その他	66,952	63,370
流動負債合計	522,582	455,131
固定負債		
退職給付に係る負債	13,806	14,740
その他	2,964	6,677
固定負債合計	16,770	21,418
負債合計	539,352	476,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	521,185	521,185
資本剰余金	511,185	511,185
利益剰余金	1,063,582	1,037,711
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	2,079,081	2,053,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,168	13,339
為替換算調整勘定	12,385	5,024
その他の包括利益累計額合計	18,553	18,363
純資産合計	2,097,635	2,071,574
負債純資産合計	2,636,988	2,548,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	550,675	767,617
売上原価	281,635	494,840
売上総利益	269,040	272,777
販売費及び一般管理費	251,050	271,520
営業利益	17,990	1,256
営業外収益		
受取利息	522	980
受取配当金	166	707
為替差益	10,233	—
その他	2,549	787
営業外収益合計	13,471	2,476
営業外費用		
支払利息	1,725	—
為替差損	—	1,568
その他	31	117
営業外費用合計	1,756	1,686
経常利益	29,705	2,046
特別利益		
投資有価証券売却益	1,064	—
特別利益合計	1,064	—
税金等調整前四半期純利益	30,769	2,046
法人税等	3,494	17,988
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	27,274	△15,941
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,274	△15,941

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	27,274	△15,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,159	7,170
為替換算調整勘定	22,258	△7,360
その他の包括利益合計	21,098	△189
四半期包括利益	48,373	△16,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,373	△16,131
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	335,402	155,728	26,024	33,520	550,675	—	550,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	335,402	155,728	26,024	33,520	550,675	—	550,675
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△36,971	79,694	22,463	15,761	80,946	(62,956)	17,990

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整62,956千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	544,652	170,511	26,890	25,563	767,617	—	767,617
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	544,652	170,511	26,890	25,563	767,617	—	767,617
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△43,442	86,173	25,069	△1,335	66,465	(65,208)	1,256

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額65,208千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。